安全互助会だより

第23号（令和８年８月20日発行）
一般財団法人北海道高等学校安全互助会
〒060-0005 札幌市中央区北５条西６丁目
第二道通ビル
TEL（011）252-0200　FAX（011）252-0201
URL http://www.h-anzen.com/



「こころつむぎ いのち輝け 北の大地から」

理事長　海　東　剛　哲

この標語は本会の母体となる道高Ｐ連が二年後に主管する全国大会のテーマです。北海道独特の歴史の中で、多様な人々の生活や文化が人の心を通してつむがれ、受け継がれてきました。一方、道内には多様な生命が息づく豊かな自然に恵まれ、その中で私たち人間も生かされ、命をつないできました。このテーマには、かけがえのない一人ひとりの「こころ」と「いのち」を大切にして共に助け合って生きて行こうというメッセージが込められているのです。

まさしく本テーマは相互扶助の精神に基づく本会の目的にも通ずるものと考えております。

学校生活においてケガなどの災害が発生しないことが何より有り難いことですが、災害発生のときに一日も早く復帰できるよう援助するのが共済事業であり、大きな団体の会員の皆様一人ひとりがお互いに助け合うことで、本事業が成り立っているのです。運営責任者としての責任の重さは日々痛感しているところでありますが、今年度も、皆様の健康と安全を第一に本会の目的をしっかり踏まえながら、各事業に真摯に取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力、そして本会事業の積極的なご活用をお願い申し上げます。

令和８年度　定時評議員会

５月16日（土）16時10分から、ホテルポールスター札幌において、令和８年度定時評議員会が、評議員16名中12名が出席し開催されました。

海東剛哲理事長の挨拶後、議長に新村裕司評議員、議事録署名人に街道美恵評議員、後藤田勇人評議員を選任した後、議事に入りました。議事概要は次のとおりです。

・第１号議案　令和７年度事業報告及び収支決算の承認
　事業報告では、加入数や安全普及啓発活動について、また、給付件数の減少や給付額の減少等が報告され、承認されました。
・第２号議案　令和８年度事業計画及び収支予算の報告
　２月14日（土）の令和７年度第４回理事会で決定された令和８年度の具体的な事業計画と収支予算が承認されました。
・第３号議案　評議員の選任
　評議員の任期が今回の定時評議員会をもって満了となるため、増田雅彦事務局長から16名全員の評議員の提示があり、満場一致で了承されました。任期は令和12年度定時評議員会終了時までです。
・第４号議案　役員（理事・監事）の選任
　９名の理事の任期満了に伴い、10名の理事が満場一致で選任されました。また、理事と同様に任期満了となった３名の監事も満場一致で選任されました。任期はいずれも令和10年度定時評議員会終了時までです。

最後に海東理事長から今年度の役員（理事と監事）が紹介され、閉会しました。

令和８年度助成金交付団体

生徒の校内外の生活における健康･安全･健全育成に取り組んでいる団体から助成金交付団体を決定しました。

１　北海道高等学校長協会生徒指導委員会

学校安全や生徒指導に関する調査研究や、交通安全標語・ポスターコンクールに対し助成します。

今年度の調査・研究内容について次の２つのテーマが設定されております。

（１）「チーム学校による指導体制」の構築及び効果的な取組とその効果
（２）「生徒が主体的に取り組む『学業』による自己指導能力の育成」

昨年度の「第44回学校安全標語・ポスターコンクール」では、標語の部で応募作品数1,171の中から札幌東豊高校、内田有桜さんの「「ただいま」が何より大事な親孝行」の標語が最優秀賞に輝きました。

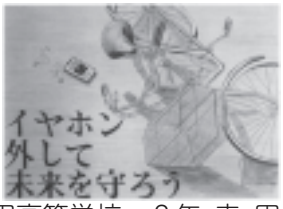
また、学校安全ポスターの部では、札幌清田高校の寺田暖華さんの「イヤホン外して未来を守ろう」とするタイトルポスターが最優秀賞に輝きました。

○標語　**最優秀賞**

「ただいま」が　何より大事な　親孝行

札幌東豊高等学校　２年 内 田 有 桜

○ポスター　**最優秀賞**



札幌清田高等学校　３年 寺 田 暖 華

２　北海道高等学校養護教諭研究会

生徒の校内外の健康や安全について指導する養護教諭の専門的な知識や技術の向上を目的とした養護教諭研究会に対して助成します。

昨年度の研究協議会では２日間の日程で「勇気づけと承認のコミュニケーション」、「LGBTQ+の児童生徒の存在を認識した学校での取り組み」と題して著名な大学教授等の専門家による講演会や道教委の小西亜紀指導主事を助言者に迎え、函館水産高校の多田三佳先生から教育相談に関わる研究発表が行われるなど、学校課題の最前線で奮闘する養護教諭の先生方にとって実り多い研修の場となりました。

令和７年度共済金の給付状況

前年度より給付件数、給付額ともに減少しました。

共済金等給付総計	1,876件	25,673,500円

※　生徒へ給付した共済金及び香料、PTA会員へ給付した共済金の合計です。

○生徒への給付

死　　亡	0件	0円
障　　害	1件	250,000円

※　学校管理下（部活動）で障害が１件発生しました。

傷　　病	1,866件	24,673,500円

※　安全互助会ではスポーツ振興センターの給付状況に応じて月毎に給付しています。実際に発生した災害の件数は1,234件でした。発生状況を分析します。

・場面別

学校管理下の傷病では部活動中845件、授業中264件、通学中85件、休憩中40件です。

部活動中では、バスケットボール、野球、サッカー、バレーで553件を占めています。スポーツ振興センターの全国統計では、サッカー、バスケットボール、野球、バレーの順になっています。

部活動の次に多いのは授業中の418件で、そのうち303件は体育の授業中です。球技でのケガが多いですが、跳び箱やスキー授業などでの発生も見られます。

通学中のうち56件が自転車運転中です。また、休憩中は運動をしているときのケガが多いですが、階段の踏み外しによる転倒なども発生しています。

・傷病別

骨折	384件
捻挫	103件
脱臼	82件
打撲・挫傷	140件
創傷	33件
靱帯損傷・断裂	251件
半月板損傷・断裂	38件
腱損傷・断裂	21件
歯牙破折	10件
その他負傷	2件
疾病	170件

骨折が最も多く、靱帯損傷・断裂、打撲・挫傷が続きます。疾病では、運動に起因するものが134件で最も多く、なかでも椎間板ヘルニア、腰椎分離症など腰を痛めるケースは88件と多くなっています。

・部位別

足首や膝部を中心に下半身が５割を占めています。頭頸部と体幹部は３割、上肢部は２割となっています。

傷病と部位の相関のうち、骨折では手・指が最も多く、ついで足・指、足首、鼻と続きます。靱帯損傷・断裂や捻挫は足首と膝が大部分で、頭部の打撲も見られます。

歯科補綴	1件	40,000円

※　破折した歯を保険診療外で治療した場合に給付する制度です。

香　　料	7件	700,000円

※　学校やPTAの管理下にない場合における生徒の死亡に対して10万円を給付する制度です。

○PTAへの給付

P 傷 病	1件	10,000円

※　PTA活動中にPTA会員が被った災害への給付制度ですが、昨年度は１件発生しています。

令和７年度末財務状況

貸　　借　　対　　照　　表

令和8年3月31日現在

（単位：円）

科　　目	当　年　度	前　年　度	増　減
Ⅰ 資産の部			
1．流動資産			
現金預金	38,229,995	37,554,761	675,234
現金預金（普通支払備金分）	944,200	854,300	89,900
現金預金（既発生未報告支払備金分）	12,756,062	13,581,500	△ 825,438
未収金	0	0	0
前払金	0	0	0
流動資産計	51,930,257	51,990,561	△ 60,304
2．固定資産			
(1)　基本財産			
定期預金	0	0	0
基本財産計	0	0	0
(2)　特定資産			
準備金積立金	170,127,345	150,127,345	20,000,000
責任準備金積立金	33,435,899	30,779,934	2,655,965
退職給付引当積立金	1,445,400	1,346,400	99,000
特定資産計	205,008,644	182,253,679	22,754,965
固定資産計	205,008,644	182,253,679	22,754,965
資産合計	256,938,901	234,244,240	22,694,661
Ⅱ 負債の部			
1．流動負債			
普通支払備金	944,200	854,300	89,900
既発生未報告支払備金	12,756,062	13,581,500	△ 825,438
未払金	0	0	0
預り金	199,080	254,535	△ 55,455
流動負債計	13,899,342	14,690,335	△ 790,993
2．固定負債			
準備金	170,127,345	150,127,345	20,000,000
責任準備金	33,435,899	30,779,934	2,655,965
退職給付引当金	1,445,400	1,346,400	99,000
固定負債計	205,008,644	182,253,679	22,754,965
負債合計	218,907,986	196,944,014	21,963,972
Ⅲ 正味財産の部			
1．指定正味財産	0	0	0
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(0)	(0)	(0)
2．一般正味財産	38,030,915	37,300,226	730,689
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	38,030,915	37,300,226	730,689
負債及び正味財産合計	256,938,901	234,244,240	22,694,661

令和８年度加入状況（７月末現在）

○　加入校　170校

○　生　徒　・全日制　49,049人

・定時制　672人

・専攻科　141人

生徒計　49,862人

○　教職員　3,255人

○　子弟が在学していないPTA　95人

総　計　53,212人

※　加入校数は、昨年度から６校減り、加入生徒数では、2,410人減少しました。

※　加入した生徒の父母を加えた、共済事業の対象となる総人数は約150,000人です。

令和８年度業務計画

４月３日	公認会計士監査
４月11日	監事監査
４月11日	第１回理事会
５～６月	高Ｐ連支部総会における事業広報
５月16日	定時評議員会
６月23日	７年度事業報告書提出（道教委へ） 役員変更届（道教委へ）
７月14日	道教委関係部局との懇談会
７月25日	第２回理事会
７月27日	全国高校安全互助会連絡協議会役員会
８月20日	互助会だより第23号発行
10月初旬	公認会計士監査
11月12日	全国高校安全互助会連絡協議会総会
12月12日	第３回理事会
２月１日	「令和９年度共済事業の手引」発行 互助会だより第24号発行
２月中旬	第４回理事会･審査委員会
３月	９年度安全普及啓発活動届出（道教委へ）
４月上旬	内部会計定期監査 公認会計士監査 監事監査

この他に、常務理事会や偶数月初旬には内部会計定期監査が実施されます。

また、年間を通して安全普及啓発活動として生徒や職員のこころやいのちに関わる学校の取組を支援していきます。

普及啓発事業を拡充しています！

現在、各学校におかれましては、大学の教授や心理士などの専門家を招聘して、心の健康や性教育に関する講話、がん教室や健康安全教室などの取組が実施されております。

今年度より学校安全教育の三本柱である生活安全（防犯含む）、交通安全、防災安全や、学校保健教育の範囲を鑑み、スクールカウンセラーや道内で活躍したスポーツ選手による講演や実技指導、あるいは防犯・防災教育に関わる講演・実技訓練について、積極的に学校を支援してまいります。

学校の教育計画に基づいて学校独自で講師等を設定できるよう校長協会とも連携しながら講師の情報提供も積極的に行っておりますので、本事業を大いに活用していただきたいと考えております。

特に、生徒の健康安全等に関わる講演会、体育授業の生徒を対象にケガの予防等を目的とする専門家による講演・実技指導（含むスポーツ医学）、部活動の生徒を対象にケガ予防、競技力向上等を目的とする専門家による講演・実技指導につきましては、別紙の講師をご紹介できますので事務局までお問い合わせください。

すでに昨年度以上の27件の取組が実施されております。今からでも申請できますので、ご活用ください。

令和８年度収支予算

《収入の部》　（単位：円）

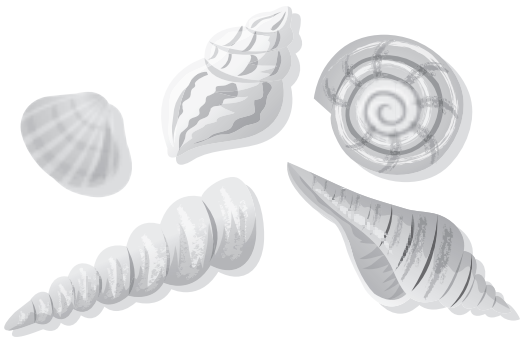
項　目	本年度予算額	前年度予算額	増　減
会費収入	72,570,000	74,532,000	△ 1,962,000
特定資産積立収入	396,000	0	396,000
雑収入	302,000	302,000	0
準備金等戻入額	17,650,624	17,205,235	445,389
収入合計	90,918,624	92,039,235	△ 1,120,611

《支出の部》

項　目	本年度予算額	前年度予算額	増　減
事業費	100,420,000	96,310,000	4,110,000
共済給付事業費	51,820,000	52,000,000	△ 180,000
準備金等繰入額	22,789,410	23,819,781	△ 1,030,371
安全普及費	3,000,000	4,190,000	△ 1,190,000
広報事業費	2,300,000	2,400,000	△ 100,000
助成事業費	1,200,000	1,500,000	△ 300,000
調査研究費	1,260,000	1,660,000	△ 400,000
人件費	13,740,000	6,410,000	7,330,000
需用費	4,130,000	4,130,000	0
雑費	180,590	200,219	△ 19,629
管理費	7,690,000	12,220,000	△ 4,530,000
人件費	3,344,000	7,809,000	△ 4,465,000
事務費	2,010,000	2,010,000	0
需用費	2,180,000	2,180,000	0
雑費	156,000	221,000	△ 65,000
当期支出合計	108,110,000	108,530,000	△ 420,000
当期収支差額	△ 17,191,376	△ 16,490,765	△ 700,611
前期繰越収支差額	28,462,051	37,300,226	△ 8,838,175
次期繰越収支差額	11,270,675	20,809,461	△ 9,538,786

事務局から

・　請求書の学校長・PTA会長職印の押印忘れや、継続であっても初めての請求の際には災害報告書の写しを添付することに留意してください。



保健室からこんにちは！！



「心と体の健康を支える取り組み」

北海道札幌北陵高等学校養護教諭
伊藤　湯美子

高校生は、学習や進路、人間関係など、さまざまな場面でストレスを抱えやすい時期です。本校では毎年、１年生を対象にスクールカウンセラーによる健康講話を実施しています。今年度は北海道高等学校安全互助会の「健康安全普及事業」の補助を受けて開催しました。講話「ストレスについて考えよう～ココロとカラダの整え方～」では、ストレスサインチェックを通して自分に現れやすい心身の変化を知り、日常生活で実践できるストレスへの対処法について学びました。心や体の変化に気付き、早めに対処する力を身につけることは、学校生活だけでなく、将来の社会生活においても大切な力になるのではないでしょうか。

本校は自転車通学の生徒が多く、登下校中の事故防止が重要な課題となっています。今年４月の道路交通法改正を受け、担任による指導に加え、生徒支援グループ通信や保健だよりをとおして時間に余裕を持った登校や交通ルールの遵守を呼びかけてきました。さらに５月には、事故の危険性が高い交差点で、生徒代表と教職員が協力し、自転車乗車指導を実施しました。本校では例年、自転車での登校中に負傷し、登校後に保健室で手当を受ける生徒が少なくありませんが、今年４月から７月までの登校中の自転車事故は８件となり、昨年度同時期の11件から減少しました。微減かもしれませんが、こうした取り組みが生徒の交通安全意識の向上や事故防止につながったのではないかと考えています。また、保健室では、応急処置を行いながら当該生徒と事故の原因を一緒に振り返り「どうすれば防げたか」を考察し、安全な行動を選択できる力を育んでいます。

学校祭の準備が始まると、保健室にはけがや体調不良だけでなく、人間関係の悩みや精神的な疲れを抱えて来室する生徒も見られました。頭痛や腹痛の背景にストレスや不安が隠れていることもあります。保健室では、生徒一人ひとりの気持ちに寄り添い、安心して話せる場となるよう心がけています。

これから暑さが本格化し、熱中症予防がより重要な時期を迎えます。今後も、生徒が安心安全に学校生活を送ることができるよう、日々の健康観察や保健指導を通して、生徒の健康を支えていきたいと考えています。

令和８年度　理事・監事・評議員

・理　事

理 事 長　海東剛哲（道高Ｐ連顧問・留萌）
常務理事　堀川貴庸（道高Ｐ連副会長・帯広南商）
常務理事　野尻敦子（道高Ｐ連副会長･札幌石狩南･札幌国際情報）
常務理事　橋本洋一（道高Ｐ連副会長･市立札幌大通）
常務理事　遠藤美枝（道高Ｐ連副会長・札幌月寒）
常務理事　今井宏昌（道高Ｐ連副会長・帯広工業）
常務理事　圓子英徳（道高Ｐ連副会長･札幌国際情報）
理　　事　須藤克志（道高校長協会会長・札幌東）
理　　事　古谷　尚（道高体連会長・札幌手稲）
理　　事　中道真由美（道高養研副会長･石狩翔陽）

※　常務理事等の業務担当

・運営総括担当	海東剛哲　理 事 長
・運営総括補佐担当	堀川貴庸　常務理事
・コンプライアンス担当	野尻敦子　常務理事
・コンプライアンス担当	圓子英徳　常務理事
・リスク管理担当	橋本洋一　常務理事
・理事会等議事録担当	今井宏昌　常務理事
・内部会計監査担当	遠藤美枝　常務理事

・監　事

蝦名竜次　（道高Ｐ連監事・寿都）
西垣　努　（道高Ｐ連監事・中標津）
金澤秀司　（道高Ｐ連監事・函館中部）

・評議員

吉本英之　（道高Ｐ連石狩支部・石狩翔陽）
種田百合　（道高Ｐ連道南支部・函館水産）
渡邊泰央　（道高Ｐ連後志支部・小樽未来創造）
秋田政行　（道高Ｐ連空知支部・長沼）
本間　学　（道高Ｐ連旭川支部・旭川商業）
今　美樹　（道高Ｐ連留萌支部・留萌）
白川哲也　（道高Ｐ連名寄支部・稚内）
佐藤孝洋　（道高Ｐ連北見支部・網走南ケ丘）
松久大樹　（道高Ｐ連十勝支部・帯広柏葉）
齋藤孝次　（道高Ｐ連釧路支部・釧路江南）
寺澤淳司　（道高Ｐ連根室支部・別海）
山谷芳則　（道高Ｐ連胆振支部・苫小牧東）
葛西生昇　（道高Ｐ連日高支部・浦河）
相馬利幸　（道高等学校長協会・札幌西）
前川保夫　（道高等学校教頭副校長会・札幌西）
鈴木貴之　（道公立学校事務長会・石狩翔陽）

令和８年度　審査委員会委員

末岡裕文　（北海道医師会常任理事）
田西　亨　（北海道歯科医師会常務理事）
駒井信和　（道高校長協会生徒指導委員長）
先名孝亘　（市立札幌新川高校ＰＴＡ会長）
千葉夏樹　（札幌琴似工業高校ＰＴＡ会長）